

一般社団法人薬局共創未来人財育成機構
平成28年度第5回理事会議事録

- 1、開催日時:平成29年2月28日(火) 13:00~14:00
- 2、開催場所:グラントウキョウサウスタワー13階 F会議室
(東京都千代田区丸の内一丁目9番2号)
- 3、出席者: 理事(浅山亨、赤羽根秀宜、宮本法子、加藤裕芳、平野裕幸)
監事(内藤温子)

4、議案

- (1)アプライドセラピューティクス学会との契約(覚書)について
- (2)その他(賛助会員募集について)

5、当日配布資料

- (3)アプライドセラピューティクス関係資料
- (4)賛助会員資料
- (3)健康サポート薬局研修の講師一覧

6、議事概要

浅山代表理事が開会を告げ、本日の出席者について報告を行った。理事5名中5名監事1名中1名が出席で、定款第32条第1項に基づき理事会が成立していることを告げた。議長は第31条第2項の規定により浅山代表理事が議長に就任し議事が開始された。

(1)アプライドセラピューティクス学会との契約(覚書)について

アプライドセラピューティクス学会との共催での対応について、議題にする前に、そもそも理事会に掛ける議題の範囲が明確でないので、範囲を決めたらどうかという提案がなされた。例えば他団体との共催や高額な支出なども含め理事会に付議する必要な項目の検討し、次回の理事会で審議することとなった。

アプライドセラピューティクス学会との取りきめについては、複数回にわたる共催なので、

- 1)お互いにきちんと交わした文書が無いと、後々揉めることも考えられる。
- 2)また、期限についても明記が必要。

3)アプライドセラピューティクス学会と再度協議して、2017年4月よりの覚書等の案を浅山代表理事に作成するよう求められた。お互いに不平等にならないような内容にして、覚書案は法務部でのチェックを受けてから理事会に諮ることとなった。

但し、アプライドセラピューティクス学会と現在進行中の案件については進めながら交渉を行う。

4)臨床薬物動態入門セミナーについては共催の相手が臨床薬物動態情報局となっており、アプライドセラピューティクス学会としてではなく緒方宏泰氏が個人で行っていると思われる。

このような個人の活動との共催等についても規定を決めておく必要がある。薬剤師教育をいろいろな団体と共催するのは良いと思われるが、きちんとした文書で取り交わして欲しい。

(2)その他、賛助会員募集について

賛助会員については賛助規定が出されたので、審議時間の関係で各理事が持ち帰り、修正点等があれば事務局に提出し、最終文面を持ちまわりで審議することになった。

7、閉会

以上の審議を終え14:00に閉会となった。

上記の決議を明確にするため、定款第33条2項に基づき、代表理事および監事が署名押印する。

平成29年2月28日

代表理事

浅山 亨



監事

内藤 温子

